

授業科目

母子看護学特論I ※母性

担当教員名 塚本 康子、中山 和美、下山 博子、山口 典子	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

授業の概要

母子の健康に関する多様な課題に対応するため、女性とその家族の健康と、健康問題を把握する概念と理論、支援を理解し、女性のライフスタイルから思春期・成熟期・更年期・老年期にある女性のヘルスプロモーションについて、文献、資料をもとに探求し、今日的課題を考察する

授業の目的

母子のさまざまな健康問題を理解し、多角的な分析から看護職としての役割と責任について考察する。
母子の健康問題について検討し、支援のためのアプローチについて探求する。

学習目標

1. 女性のライフサイクルにおける健康問題を指摘できる。
2. 母子の多様な健康問題を理解し、支援アプローチを探求する。
3. リプロダクティブヘルスの観点からヘルスプロモーションを説明できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	女性の健康へのヘルスアセスメント	講義
2	思春期における健康問題	講義・演習
3	成熟期における健康問題	講義・演習
4	更年期における健康問題	講義・演習
5	老年期における健康問題	講義・演習
6	高度生殖医療に関する看護援助	講義
7	不妊治療	講義・演習
8	流産・死産、障害児や奇形児を出産した母親の心理	講義・演習
9	遺伝相談	講義・演習
10	出生前診断	講義・演習
11	女性のQuality of life	講義・演習
12	ハラスメント、DV、虐待	講義・演習
13	社会的資源	講義・演習
14	ケアシステム	講義・演習
15	ネットワーク	講義・演習

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適宜紹介する					
その他の資料						

評価方法

レポート50%、プレゼンテーション50%

履修上の留意点

ディスカッションに積極的に参加するために、文献活用しましょう。

オフィスアワー・連絡先

各担当教員に確認してほしい。